



出典：1989年、日本芸術院展

2018. 2.10〔土〕～3.4〔日〕

前期展示 [Part 1&2] 2.10～2.21

後期展示 [Part 3&4] 2.22～3.4

オープニングトーク

出演：石川真生

2月10日（土）午後2時

参加費 1000円（入館料別途）

ギャラリートーク

出演：天野太郎（横浜市民ギャラリーあざみ野首席学芸員）

2月24日（土）午後2時

参加自由（入館料別途）

 原爆回丸本美術館

埼玉県東松山市下唐子 1401 電話 0493-22-3266

月曜休館（月曜祝日の場合は翌平日）

企画協力 天野太郎、三ツ山一志

石川真生 大琉球 写真絵巻

石川真生 大琉球 写真絵巻

2018. 2.10 [土] ~ 3.4 [日]

前期展示 [Part 1&2] 2.10 ~ 2.21

後期展示 [Part 3&4] 2.22 ~ 3.4



米軍統治下の沖縄に生まれ育ち、基地近くの外国人バーで働く女性たちや米兵の姿を赤裸々に撮影して、写真家としてデビューした石川真生さんは、以後、沖縄で生きる人たちに熱い眼差しを向け、数多くの写真を撮り続けてきました。

その石川さんが現在取り組んでいるのが「大琉球写真絵巻」のシリーズです。薩摩藩の琉球侵攻から続く沖縄の苦難の歴史を学び、歴史上の場面を友人たちに再現してもらい創作写真として撮影するという手法で、沖縄戦や米軍の新基地建設問題にいたるまでの400年間の出来事を、怒りとユーモアを織り交ぜながら、全4巻、長さ120メートルに及ぶ壮大な絵巻に表現しています。

今年2月にはステージ4の新たながんが見つかりましたが、治療手術前に病を押して撮影し、最新作のPart4を完成。9月に那覇市民ギャラリーで完成披露の展覧会を行いました。本展は、石川さんを支える方々の協力により、沖縄以外では初めて、Part1からPart4まですべての「大琉球写真絵巻」を公開する貴重な機会となります（前後期展示替え制で2巻ずつ展示）。

初日の2月10日には、石川さん本人が丸木美術館を訪れ、熱いトークを繰り広げてくださいます。ぜひこの機会に、沖縄の人たちの不屈の魂と抵抗の歴史を、全身で受け止めて下さい。

このチラシをお持ちの方は、丸木美術館入館料が100円割引となります。



公益財団法人 原爆の図 丸木美術館

5月5日は開館記念日・8月6日はひろしま忌

[常設展]「原爆の図」連作

「水俣の図」

「南京大虐殺の図」

「アウシュビッツの図」

「水俣・原発・三里塚」

丸木スマ水彩画等

[開館時間] 午前9時半～午後4時半

(3月1日からは午前9時～午後5時)

[休館日] 月曜日(月曜祝日の場合は翌平日)

[入館料] 大人900円 中高生または18歳未満600円
小学生400円 団体(20名以上)、60歳以上、
チラシ持参者、比企地区在住者100円割引
障碍(しょうがい)のある方は半額

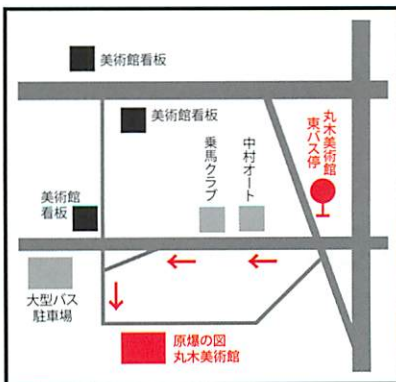
〒355-0076 埼玉県東松山市下唐子1401
TEL 0493-22-3266 FAX 0493-24-8371

[URL] <http://www.aya.or.jp/~marukimsn/>

[Eメール] marukimsn@aya.or.jp

[交通]

- 東武東上線森林公園駅
南口よりタクシー10分、徒歩50分
- 東武東上線東松山駅より市内循環バス唐子コース(日祝運休)約15分
「丸木美術館東」下車徒歩15分
- 関越自動車道
東松山インターより小川方面10分
- 東武東上線つきのわ駅南口から徒歩27分、詳細は丸木美術館にお問い合わせ下さい



【市内循環バス時刻表(日祝運休)】

東松山駅東口発 丸木美術館東行	丸木美術館東発 東松山駅東口行
08:55	10:32
10:00	11:37
11:05	14:02
13:30	15:02
14:30	16:27
15:55	17:32